company newsletter

VOL 113

ダン吉＆べっこときどき新聞

2025.3.1　**真岡鐵道でSLに乗る**　　発行元　小久保運送（有）/ かたづけダンべぇ **0270-32-1542**

先日たまたまSLに乗る機会がありました。NHKの番組に紹介された「道の駅にのみや」へ行ったことがきっかけです。そこは栃木県真岡市にあって、イチゴ推しの道の駅。イチゴのスィーツや売られている大粒いちごを見て、男心にグッときて即行くことになったのでした(笑)

そこまでは、市内から高速で1時間30分位。お昼前に出て、午後一には甘い香りの施設内に居た次第。が、お目当てのスィーツは全て売切れ。仕方なくイチゴを1パック購入。で、目的終了。さてどうしよう？と悩んでいると真岡駅傍にSLキューロク館という施設があることを知り行くことに。

到着したキューロク館は無料。SLやレトロな客車が展示されてて売店も有り。私はと言えば、迫力あるSLにテンションが一気に上がり写真をパチパチ。そうしていると、これからSLが到着して、乗りたい人は乗れるといった館内アナウンスが流れ、急遽「乗ります！」となりました。

15時過ぎ。黒煙を吐きながら大勢のお客様が待つ、真岡駅にSLが到着。嬉々として乗込む私達。発車するSL。外を見ると、撮影する人、手を振る人が沢山。正直、乗り心地はイマイチ。でも乗る人も見てる人も、ハイな様子。何ででしょう？単なるノスタルジックな気持ちでもない。SLがもたらすものって。そんなことを思いながら、私の初SL体験は終わったのでした。意外と身近なSL体験乗車。その他ここではSLを実際に運転もできたりするようですね。興味のある方は、是非SLキューロク館で検索してみてください。

https://sl-96kan.com/

✔ グルメ情報「カフェ＆ギャラリー　くろばら」さんのご紹介

伊勢崎市大手町、昔ながらの路地と駅前開発が共存する場所に佇む**「カフェ＆ギャラリーくろばら」**さん。昭和44年の開店以来、女性店主の栗原さんがお一人で営む小さなカフェです。

店内は10人は座れそうな大きなテーブルがお店の中心。そんな和気あいあいとした雰囲気は、明るくきさくな店主さんの人柄が作り出しているのでしょう。こちらのランチメニューは2種類。

◆**おまかせプレート1000円**

メインのお料理（ハンバーグや春巻き、チキンカツなど）を中心に、ひじきの煮物やほうれん草の胡麻和えなどの一品料理、旬の野菜やお漬物なども添えられた彩りの良い一皿。すべて手作りで家庭的な温かみのあるプレートです。

◆**ナポリタン1000円**

昔ながらの喫茶店のナポリタン。サラダとスープもついて栄養バランスも良し。

※どちらも+200円で、ドリンクとデザートがつきます。

店内では、伝統工芸品の**「一閑張り」という技法で作られたバッグが展示・販売されています。**同じ手法で作るアクセサリーもあって、これらすべては栗原さんが1つ1つ手づくりした一点物。同じものはありません。柄や色合い、形や大きさなど、じっくり見比べてお気に入りを探してみてはいかがでしょう。

伊勢崎で55年以上愛され続ける「くろばら」さん。是非、若い方も気軽に利用してみてください

「カフェ＆ギャラリー　くろばら」
住所：伊勢崎市大手町26-4
電話：090-1458-0127
営業時間 11:00～17:00(ランチ 11:30～14:30)
営業日：木金土のみ

出典「アイマップ」www.imap.ne.jp

かたづけダンべぇから雑感などなど

これは昨年から感じていたことですが、ここのところ空家を片づけて欲しいというお問合せが多くなってきています。もちろん内容は色々です。

先日これはもう少し早く周りが気が付いてあげれば、こうしたことにはならなかったのではないか？そんな事案に対応致しました。

詳細はここでは書けないのですが、高齢化が進み、少子化が進んでいる世の中で、生活者一人一人が心掛けるべきことは、以前とは変わってるように思います。

日々現場に相対している我々だからこそできること、ご提案できることもあると思っています。お気軽にご相談ください。

フリーダイヤル
0120-895-371
（やくごみない？）
まで　お気軽に。

ひとこと

昔、妻が妊娠中実家へ里帰りしていました。今もそんな感じなんでしょうかね？当時としては、珍しくない話でした。週末になると、あの頃乗っていた日産テラノを走らせて、三百キロ先にある妻の実家へ一人ドライブしたもんです。

最初は高速も使いました。でもそのうち、急ぐ旅でも無いし、一般道を走ることも多かったです。片道約8時間程。新しくできた道路やトンネルのおかげで、今はもうちょっと短縮できると思いますけど。

そんなドライブ最中に、よく立ち寄るパン屋さんがありました。田舎の国道沿いにあるパン屋さん。当時としては珍しかったイートインを備えて、珈琲も飲めるお店でした。

先日久しぶりにその店の前を通ったんですが、なんとクローズしておりました。調べると、少し前に閉店した様子。「寂しいなぁ」思わず口に出してしまいました。通るたびにあの頃のこと、生まれてくる子供や妻に思いを寄せる自分を思い出していましたから。そんな思い出深いお店が、だんだん無くなっていくのも、世の流れ何でしょうかねぇ。